

(別紙様式)

平成25年度魅力ある学校づくり調査研究事業ブロック協議会資料

都道府県・政令指定都市教育委員会名〔 福井県 〕

1 拠点校及び連携校

区 分	学 校 名	学級数	児童生徒数
拠点校（中学校）	福井市光陽中学校	17（2）	484
連携校 （拠点校中学校区 内の小学校）	福井市足羽小学校	12（1）	235
	福井市東安居小学校	13（1）	364
	福井市湊小学校	14（1）	374
		（ ）	

※学級数の（ ）には、特別支援学級数を内数として記入

※学級数及び児童生徒数は平成25年5月1日現在で記入

2 意識調査(アンケート共通項目)※集計結果を%で示す。(％は小数第2位を四捨五入) (%)

学校種	学年等	実施時期	児童生徒数(人)	ア 学校が楽しい				イ みんなで何かをするのは楽しい				ウ 授業に主体的に取り組んでいる				エ 授業がよくわかる			
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全学年計	前年①	481	54.5	35.1	6.5	3.9	64.1	28.3	7.0	0.7	32.5	50.8	14.6	2.2	30.3	49.9	15.7	4.1
		前年②	481	56.6	34.5	6.5	6.7	67.7	28.0	3.5	0.9	32.1	48.2	14.8	5.0	27.8	48.6	18.7	5.0
		本年①	483	61.5	32.6	5.0	0.9	73.0	23.7	2.4	0.9	25.4	58.9	13.3	2.4	32.0	51.1	15.0	2.0
	3	中2①	152	52.8	38.0	7.7	1.4	69.7	24.6	5.6	0	28.2	56.3	13.4	2.1	21.8	57.0	16.9	4.2
		中2②	153	60.7	31.0	7.6	0.7	71.0	25.5	2.8	0.7	29.7	54.5	12.4	3.4	24.1	53.8	17.9	4.1
		中3①	154	64.3	29.4	6.3	0	75.5	21.0	3.5	0	25.9	57.3	14.7	2.1	21.0	58.0	18.9	2.1
	2	中1①	176	69.2	24.3	5.3	1.2	73.4	23.1	3.0	0.6	45.0	42.6	10.7	1.8	50.3	38.5	10.1	1.2
		中1②	175	55.4	36.3	7.1	1.2	69.0	28.6	1.2	1.2	34.5	45.2	15.5	4.8	33.9	43.5	19.6	3.0
		中2①	174	52.7	41.3	4.2	1.8	64.1	32.3	1.8	1.8	26.3	56.3	15.0	2.4	25.7	52.7	19.2	2.4
	1	小6①	181	54.5	35.4	7.9	2.2	70.2	27.0	1.7	1.1	23.0	61.2	13.5	2.2	47.2	46.6	5.6	0.6
		小6②	181	66.3	32.0	0.6	1.1	74.7	21.9	1.7	1.7	36.5	48.3	12.4	2.8	55.1	37.1	6.7	1.1
		中1①	155	68.7	26.0	4.7	0.7	80.7	16.7	2.0	0.7	24.0	63.3	10.0	2.7	49.3	42.7	6.7	1.3
小学校	高学年計	前年①	346	57.8	32.6	6.7	2.9	76.0	20.5	2.6	0.9	34.0	51.9	11.7	2.3	54.0	39.3	5.9	0.9
		前年②	346	60.7	34.0	3.8	1.5	73.9	22.0	2.9	1.2	40.5	46.9	10.6	2.1	56.0	36.4	7.0	0.6
		本年①	352	52.3	35.3	10.6	1.7	73.6	22.7	3.2	0.6	39.4	45.4	12.9	2.3	57.2	32.2	9.2	1.4
	6	小5①	165	61.3	29.4	5.5	3.7	82.2	13.5	3.7	0.6	46.0	41.7	9.8	2.5	61.3	31.3	6.1	1.2
		小5②	165	54.6	36.2	7.4	1.8	73.0	22.1	4.3	0.6	44.8	45.4	8.6	1.2	57.1	35.6	7.4	0
		小6①	165	59.6	30.4	9.3	0.6	73.9	23.6	2.5	0	43.5	41.0	14.3	1.2	62.1	30.4	6.8	0.6
	5	小5①	187	46.0	39.6	11.8	2.7	73.3	21.9	3.7	1.1	35.8	49.2	11.8	3.2	52.9	33.7	11.2	2.1

学校種	学年等	児童生徒数(人)	オ 叩かれたり、けられたり、強く押されたりした				カ 暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせられた				キ 叩いたり、けったり、強く押したりした				ク 暴力ではないが、いじわるをしたり、イヤな思いをさせた			
			1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全学年計	483	86.5	10.2	1.3	2.0	83.0	11.1	3.3	2.6	88.9	8.70	2.0	0.4	81.3	15.4	2.0	1.3
	3年	154	92.3	7.0	0.7	0	90.9	7.7	0.7	0.7	91.6	7.7	0	0.7	90.2	7.7	1.4	0.7
	2年	174	87.4	8.4	1.2	3.0	83.2	10.2	3.0	3.6	93.4	5.4	1.2	0	84.4	14.4	0.6	0.6
	1年	155	80.0	15.3	2.0	2.7	75.3	15.3	6.0	3.3	81.3	13.3	4.7	0.7	69.8	24.0	4.0	2.7
小学校	高学年計	352	68.1	21.3	5.2	5.5	61.8	25.0	5.5	7.8	72.7	19.5	4.3	3.4	65.8	25.3	4.9	4.0
	6年	165	75.2	16.1	3.1	5.6	64.6	25.5	4.3	5.6	78.9	16.8	1.9	2.5	73.3	19.3	3.7	3.7
	5年	187	62.0	25.7	7.0	5.3	59.4	24.6	6.4	9.6	67.4	21.9	6.4	4.3	59.4	30.5	5.9	4.3

※小学校は連携校の合計

※実施時期の第1回(①)は5月ごろ、第2回(②)は12月ごろに実施

※「オ」～「ク」の項目の調査は平成25年度から実施

3 課題・目標・取組

課題	自己肯定感が低く習慣や社会性が育っていないため、学校生活への不適應感を問題行動として顕在化する児童・生徒が多い。
目標	児童生徒相互の絆を基盤に、達成感や成就感の獲得に向けて、他と協調しながら目標に向けてねばり強い取組ができるようになる。
取組	家庭と連携して育む習慣や豊かな心を基盤として、小小・小中連携による交流活動で、社会性の育成や学力向上に取り組む。

4 意識調査結果の分析

(1) 好ましいと思われる事項

小・中共通	項目「イ」で、小・中学校共に肯定的な回答が95%を超えている。 項目「エ」は、小・中学校とも「1」と答えた割合が増加している。 項目「オ」～「ク」について、学年が上がるにしたがって「1」と答える割合が増加している。
中学校	1年と3年で、項目「ア」「イ」の項目で向上が見られ、肯定的な回答が90%を超えている。
小学校	6年生では、項目「ア」「イ」「エ」に関して、肯定的な回答が90%を超えている。

(2) 好ましくないと思われる事項

小・中共通	項目「ウ」に関して、どの学年においても「1」と答えた児童生徒の割合が減少している。
中学校	2年生の「ア」～「エ」の項目で、「1」と回答した生徒の割合が減少している。
小学校	5年生は、昨年と比較するとすべての項目で低くなっている。項目「ウ」「エ」では、学校間で格差が大きくなっている。

5 取組事項

小・中共通	<ul style="list-style-type: none"> ①家庭・地域との連携の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育スタンダードを活用した保護者への啓発と懇談会参加者を増やす工夫。 ・地域や保護者が小中交流活動に参加できる体制づくり ②学ぶ意欲や学力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に発表し、自己のよさや可能性を実感できる授業の実現 ・聞き、考え、話す態度の育成 ・「分かった」「できた」とい達成感や成就感を味わわせる授業の工夫 ③自己有用感の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・多くの地域の方と進める小中交流活動 ④基本的な生活習慣の定着 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭と連携しながらの基本的な生活習慣の定着と規範意識の高揚 ⑤豊かな心の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動と関連づけた道徳の授業実践 ・道徳的価値の一覧表を活用した学校生活場面での心の育成 ⑥小中連携の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・データを基にしたより効果の高い取組の実現
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ①地域との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・町内別生徒会の新設と、地域行事等への積極的な参加の体制づくり ②学ぶ意欲や学力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・見通しを持たせ主体的に考え発表する授業実践 ③自己有用感の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会の活性化と誇りの持てる学校づくり
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ①学ぶ意欲や学力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に学習できる課題の設定とペアやグループによる話し合い活動を取り入れた授業実践 ・算数共通テストを活用し、弱点補強やその予防のための授業実践 ②自己有用感の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・縦割り班活動を取り入れた学校行事

6 取組内容

(1) 事業実施計画書に記載した月別実施内容

月	小学校で行う主な内容	実施状況	中学校で行う主な内容	実施状況
4月	1年生を迎える会（全小）	○	第1回研究推進委員会 第1回連絡協議会〔東京〕 第1回小中連絡協議会	○ ○ ○
5月	第1回意識調査（全小） 第1回社会性変容調査（全小） 異学年交流活動（東安居小・全学年） 縦割り班結成（全小）	○ ○ ○ ○	第1回意識調査 第1回社会性変容調査 第2回小中連絡協議会【小中合同】 第1回合同部会【小中合同】 第1回公開授業・研究会【小中合同】 第1回地域合同清掃ボランティア【小中合同】 地域探究活動（1年）	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
6月	縦割り遊び（東安居小・全学年）	○	第3回小中連絡協議会	○

	幼稚園訪問・交流会（湊小・5年） ミュージックフェスティバル（湊小・全学年） 足羽山児童集会（足羽小・全学年） なかよし遊び（足羽小、湊小・全学年） 高齢者交流活動（湊小・1、2年）	○ ○ ○ ○ ○	第2回研究推進委員会【小中合同】 連音発表会【小中合同】 第1回魅力ある学校づくり調査研究委員会 第2回公開授業・研究会【小中合同】 第3回公開授業・研究会【小中合同】	○ ○ ○ ○ ○
7月	縦割り遊び（東安居小・全学年） なかよし遊び（湊小・全学年） 第1回中学校区教育アンケート（全小）	○ ○ ○	第1回地域合同あいさつ運動【小中合同】 第4回公開授業・研究会【小中合同】 第4回小中連絡協議会 第1回中学校区教育アンケート 第1回合同研修会【小中合同】 第1回市・県教委訪問	○ ○ ○ ○ △ ○
8月	親子奉仕作業（東安居小・全学年） 親子奉仕作業（湊小・全学年）	○ ○	第5回小中連絡協議会 第3回研究推進委員会【小中合同】 第2回合同研修会【小中合同】 算数共通テスト作成【小中合同】 親子清掃ボランティア（全学年）	○ ○ ○ ○ ○
9月	親子奉仕作業（足羽小東安居小・全学年） 縦割り種目練習（足羽小・全学年） 異年齢交流活動（東安居小・全学年）		第6回小中連絡協議会 学校祭（全学年）	
10月	なかよし集会（足羽小・全学年） 小中連携授業（小中合同） 縦割り遊び（東安居小全学年） なかよし遊び（湊小全学年）		第7回小中連絡協議会 第4回研究推進委員会 第2回魅力ある学校づくり調査研究委員会 第2回地域合同清掃ボランティア【小中合同】 第1回地域学校協議会連絡会	
11月	縦割り遊び（東安居小全学年） ふれあい給食（湊小全学年） なかよし遊び（足羽小・全学年） 算数共通テスト実施・分析（全小）		ブロック協議会〔大阪〕 第8回小中連絡協議会 第5回公開授業・研究会【小中合同】 第6回公開授業・研究会【小中合同】 中学校区教育ウィーク【小中合同】 第2回地域合同あいさつ運動【小中合同】 第2回市・県教委訪問 職場体験学習（2年） 校外探求学習（1年） 第7回公開授業・研究会【小中合同】	
12月	第2回意識調査（全小） 第2回社会性変容調査（全小） 第2回中学校区教育アンケート（全小） 一斉道徳授業（共通） なかよし遊び（湊小全学年） 算数共通テスト実施・分析（全小）		第2回意識調査 第2回社会性変容調査 第2回中学校区教育アンケート【小中合同】 第8回公開授業・研究会【小中合同】 第9回小中連絡協議会 第5回研究推進委員会【小中合同】 職場体験学習発表会（1、2年）	
1月	縦割り遊び（東安居小全学年） なかよし遊び（湊小全学年）		第10回小中連絡協議会 リーフレット作成 地域学習発表会（1年）	

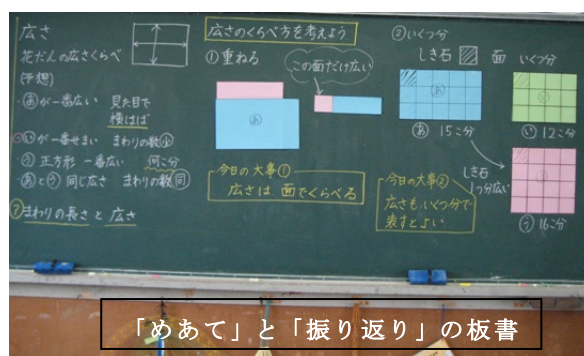
2月	わくわく交流デー（全小・保幼小1） なかよし遊び（足羽小・全学年） 老人との交流活動（3年）	第11回小中連絡協議会 第6回研究推進委員会【小中合同】 第2回合同部会 第2回連絡協議会〔東京〕 第3回魅力ある学校づくり調査研究委員会
3月	ありがとうボランティア会（湊小1.2年、足羽小1年） 見守り隊ありがとう集会（東安居小全学年） 6年生を送る会（全小） なかよし給食（共通）	第2回地域学校協議会連絡会 第12回小中連絡協議会 立志式（2年） 中学校区教育報告会 研究紀要作成

（2）8月末までに実施した具体的な取組

〔小・中共通〕

② 分かる授業と学力の向上

確かな学力を育む学習活動の推進を目標として、児童生徒にとって分かる授業を目指してきた。昨年度は、授業の始めに「めあて」を板書し、それを児童生徒全員にノートに書かせ、授業で何をやるか明確にし、児童生徒に見通しを持たせる工夫をしてきた。年度末の反省として、



「分かった」「できた」をより強く実感させ達成感や成就感を味わわせるためには、「振り返り」をしっかりと行う必要があることを共通理解した。

本年度は、授業の終わりで、「振り返り」として、分かったことをまとめたり、小テストなどを実施したりして、できるようになったことを確認するようにした。

その結果、意識調査の「授業がよく分かる」という質問項目に対して、昨年度同時期と比較して「あてはまる」という数値が小学校では 3.2%、中学校では 1.7% 上昇した。

③ 自己有用感の育成

自己有用感を育成するために、小中交流部会では、地域合同清掃ボランティア、地域合同あいさつ運動、小中連音発表会を実施している。昨年度の取組の成果として、社会性変容調査で「人の役に立っている」という自己有用感の高まりが見られた。また、課題としてもっと生徒が主体的に活動できる場面を工夫することが挙げられた。そこで5月に行われた地域合同清掃ボランティアでは、実行委員を募集し、生徒が計画に参加するようにした。開始式や解散式は生徒が中心となって運営を行った。また、縦割りのグループを編成し、中学生が中心となって、自己紹介やグループの目標を確認し合い、目標を持って清掃活動に取り組んだ。

解散式では、生徒達が感想を発表し、小学校の教員は中学生を、中学校の教員は小学生を評価した。その後、地域の方から児童生徒に取組についてがんばったところを褒めてもらった。その結果、「小学生に手本を示せた」「目標を達成できた」「充実感が得られた」というアンケート項目で肯定的な回答がほぼ 100%とな

り、活動の成果が見られた。



〔中学校〕

①地域との連携

中学校では、「積極的に地域に出向き、地域の一員として活動することにより、生徒の自尊感情を高める。」「生まれ育った地域への愛着を深め、地域に貢献する態度を育成する」という目的で町内別生徒会という組織を新設し、地域と連携しながら活動を行うことにした。

生徒は出身小学校区ごとの組織に所属し、各学年の代表者が公民館や地区担当教員と連絡調整を行いながら、地域と連携し「学校が主となって企画し、地域の協力を得て行う活動」「地域の考えや要望を受けて行う活動」を柱として活動を行っている。

6月から担当教員と担当生徒が公民館で夏休み中の行事の打ち合わせを行った。7月初旬に町内別生徒会総会を実施し、打ち合わせを基に、地域行事への参加について話し合いをした。

夏休み中に生徒達は、地域の清掃活動や地区の祭りの準備・当日の手伝い、社会福祉協議会との懇談会など、1～3年の生徒と一緒に積極的に参加した。



〔小学校〕

②自己有用感の育成

小学校では、昨年度の縦割り班活動で、5年生が予想していたほど力を発揮できていなかったという反省を踏まえ、5年生の活動内容の充実を図るよう役割や取組内容を工夫した。また、全校が体育館に集まって一斉に行っていた「なかよし遊び」を、縦割りグループに変更した。その他、活動内容も今までは担当する委員会が計画していたが、今年は縦割りグループごとに5・6年生が中心となって話し合いを行い、内容を決定した。

東安居小学校では、1年～4年生が春の遠足を合同で実施した。縦割りのグループ作り、ウォークラリーをしたり一緒に昼食をとったりした。上の学年となる2・4年は、ふだん学校の中ではリーダーとなる機会がほとんどないが、遠足では、下の学年のお世話をしようとする意識が高まり、リーダーシップを発揮することができた。

湊小学校では、体育大会の一日を縦割り班で活動し、開閉会式でも低学年がしっかり参加できるように高学年が世話をする体制をとった。また、全学年参加の縦割り種目も毎年実施し、縦割り班全員が協力して競技を楽しむ姿が見られた。

7 8月末までの取組状況と課題（第1回意識調査結果を踏まえた内容を含む）

（1）順調に進んでいる事項

小・中共通	<ul style="list-style-type: none"> ③自己有用感の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・地域からの参加者が増え、児童生徒が運営に参画した。 ④基本的な生活習慣の定着 <ul style="list-style-type: none"> ・共通4項目のアンケート結果で90%以上が肯定的な回答があった。 ⑤豊かな心の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・道徳的価値の一覧表を活用して、積極的な働きかけが進んでいる。
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ①地域との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・町内別生徒会を新設し、夏休み中にのべ250名以上の生徒が地域の行事等へ参加し、参加して良かったと感じている。
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ①学ぶ意欲と学力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループでの話し合いが定着し、誰とでも話し合いができるようになった。また、昨年度実施した算数共通テストで浮き彫りになった弱点を共通理解し、その単元を各学校で丁寧に指導している。

（2）課題となっている事項

小・中共通	<ul style="list-style-type: none"> ①家庭・地域との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・保護者会での参加者を増やし、児童生徒について話をしていくことが課題である。 ②学ぶ意欲と学力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・意識調査の「ウ」の項目で「1」と答えた児童生徒の割合が減少している。主体的な態度を明確にし、適切な評価の仕方の工夫をしていくことが課題である。 ⑥小中連携の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・学校間で取組の格差が見られたため、データを基にして取組の目標や目標とする児童生徒像を明確に共有することが課題である。
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ②授業で積極的に発表する生徒の割合が少ないため、生徒が積極的に発表する授業づくりが課題である。
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ②5年生に対する取組の修正は見られたが、学校間でまだ、教師の意識に差が見られる。

8 9月以降の重点推進事項

小・中共通	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育スタンダードに関するアンケート調査結果を分析し、その結果を公表すると共に、10月に行われる家庭教育講演会や学年・学級懇談会の話題とする。また、学校での良いところを伝えることで家でも褒めてもらえるようにする。 ・児童生徒に対して、明確な目標を持たせ、取組やその結果を適切に評価していく。 ・授業で「考え」「聞く」態度は定着したので、発表することとコミュニケーションによって自分の考えを高めさせていく。 ・学級や行事等で児童生徒がお互いの良さを認め合える場面をつくる。
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が積極的に発表できるようにするために、発表機会を増やし発表に至るまでの授業の流れを工夫する。 ・2年生の自己有用感を高めるために、生徒会や部活動で役割を明確にし、適切な評価を加える。
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生がリーダーシップを発揮する機会を教育計画に位置づける。「なかよし遊び」「6年生を送る会」「交流学习」などでの5年生の役割を明確にし、全体でサポートする。

	・「総合的な学習」で3～6年が、下の学年に総合で学んだ成果を発表する。（東安居小）
--	---

9 教育委員会の取組

(1) 市町村教育委員会

〔重点推進事項〕

- ・「魅力ある学校づくり調査研究委員会」において、外部の意見を聞くことにより、家庭や地域と連携した取組状況を把握する。
- ・指導主事訪問等で、本事業の取組を他の小中学校に発信する。

〔成果と課題〕

- 第1回調査研究委員会を開き、有識者の意見を聞いたり、保護者の思いを感じたりすることができた。
- 中学校区の学校の授業の様子を参観し、事業の進み具合を確認することができた。
- 日程調整が間に合わず、夏期休業中の行事を把握することができなかった。

(2) 都道府県教育委員会

〔重点推進事項〕

- ・市教育委員会指導主事と一緒に学校訪問して、授業や休み時間、清掃等における児童生徒の様子を観察し、教職員との研究協議をしながら、本事業の進捗状況や研究の方向性について指導助言を行った。
- ・各研究組織（研究推進委員会、小中連絡協議会、魅力ある学校づくり調査研究委員会、地域・学校協議会連絡会等）が、相互に関連しながら研究実践が行われるよう、研究を進める上で全体的な視点で指導助言を行った。

〔成果と課題〕

- 県と市の教育委員会指導主事が学校訪問して、授業参観や研究協議を重ねたことにより、本事業の進捗状況や2年次に重点を置くべき取組内容について、管理職や各事業担当教員、PTAや地域の代表者と意思疎通を図ることができた。
- 担当者だけでなく担任等を含むすべての教員が、分かる授業や人間関係づくりに向けて組織的に取り組めるように、本事業の主旨をさらに周知していく必要がある。
- 福井県不登校対策研修会（1月）において、指定地域の取組を全小中学校の管理職に周知することにより、現在、県内の全中学校区で実践している不登校の未然防止に向けた取組をさらに推進していく。

10 関連URL（※本事業に関連するものがあれば、ご紹介ください。）

光陽中学校ホームページ www.fukui-city.ed.jp/koyo-j/

【問い合わせ先】

所属	福井県教育庁義務教育課		電話	0776-20-0574	
職名	主任	氏名	坂田 雄一	よみがな	さかた ゆういち